

第3学年学級活動(1) 指導案

日 時 令和5年10月27日(金) 6校時

児 童 3年A組 計25名

指導者 教諭 後藤 順子

場 所 3年A組教室

1 議題 「学級の合言葉を決めよう」

学級活動(1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

(1) 児童の実態

初めてのクラス替えを経験して新たな友達関係を築き、毎日の学校生活を明るく元気に過ごしてきている。男女の仲もよく、休み時間になると外に出て仲良く遊ぶ姿が多く見られる。

学級会については、1学期には、「ドッジビーの特別ルールを作ろう」という議題で話し合い、自分たちで決めたルールで親子レクをすることができた。2学期になり数回、学級会を行ってきた。少しずつ学級会の進め方や話し合いの約束などについて理解しつつある。また、「まとめる」では、数人ではあるが提案理由に基づいてまとめられるようになってきている。

現在は、少数意見の「思い」や「願い」も考えた話し合いを目指し、学級みんなにとってよい意見にまとめ合っていく力を育てている状況である。

(2) 議題選定の理由

本議題は、学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」のA「学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関するものである。

大きな行事である文化祭を無事に終え、3年生としての前半が過ぎた。そこで、3年生の折り返しの時期である今を、自分たちの学級の成長を振り返るよい機会と捉え学級の現状を振り返った。9月下旬に、アンケートを行ったところ、生活面に関する課題があることが分かった。

計画委員と話し合い、これからの3年生の後半をみんなで頑張り合える合言葉を考えて、お互い意識し合って生活していくことで、よりよい学級をめざせるのではないかと考え、この課題を設定した。

3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しい学校生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学校生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学校生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 活動計画

	日 時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
	9月下旬	・アンケートに答える。	・「南小学校10の約束」を基にしたアンケートを行い、学級の実態に目を向けさせる。	
事前	10月14日 (土) 【文化祭】	・文化祭の振り返りをする。	・学年・学級のめあてと個人のめあてを反省する。特に、学級のめあてに対して良かった点と改善点を詳しく反省させる。	◎文化祭の活動を通して、どんな学級をめざしていくか、よりよい学級にしようという意欲をもっている。
	10月17日 (火) 【レクタイム】	○第1回計画員会 ・活動計画を作成する。	・学級会の設定理由を確認する。	【主体的態度】 文化祭振り返りプリント
	10月17日 (火) 【帰りの会】	・議題を決定する。 (学級全員)	・計画委員が議題を提案し、学級全員で決定する。 学級会ノートへの記入	◎「もっと学級がよくなる」意味を込めた合言葉を学級会ノートに書いている。
	10月18日 (水) 【学級会】	・学級の合言葉を考える。	・各自、合言葉を考え学級会ノートに記入する。	【思考・判断・表現】
	10月20日 (金) 【休み時間等】	○第2回計画委員会 ・書かれた意見を整理する。	・記入された合言葉をまとめておく。必要な短冊を記入する。	
本時	10月27日 (金) 【6校時】	・学級会	*本時を参照	*本時を参照
事後	11月上旬	○第3回計画委員会 ・決まったことを発表する。	・学級会で決定した学級マークの掲示をする。	

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

学級がさらに高まるために、学級の合言葉を決めることができるようにする。

(2) 話し合い活動の工夫

★手立て「ルーブリックの活用」

本時の話し合いのめあてを「まとめる力」とした。「先生の話」では、合言葉には様々な「思い」や「願い」が込められていることを話したい。そして、合言葉を一つに決めるときには、「キーワード」を抛り所とすることを確認させる。さらに合意形成をするためには多様な意見を認め合い、友達の意見を尊重してまとめていくことの大切さについて確認する。

★手立て「どのように工夫するか」

①で話し合われた「思い」がマークに表されるように、アイデアを自由に出し合う。また、できるだけ理由も話させるようにして、児童が納得したマークにつなげていきたい。マークを考える活動は初めてであるため、教師が例示したり、助言したりしながら考えさせていきたい。

(3) 指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】 <評価方法> ★手立て
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題・提案理由・決まっていること・めあての確認	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分の考えをもって参加できるよう、議題に対する考えや理由を事前にかかせておく。 提案者の願いや思いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 	◎一人一人が自分の考えをもって参加できるよう、議題に対する考えや理由を事前にかいている。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>議題 学級の合言葉を決めよう</p> <p>提案理由</p> <p>文化祭を終え3年生の半分がすぎました。これまでに3Aで付けてきた力がありますが、まだつけないといけない力もあります。9月にとったアンケート結果では、生活面にか題がありました。また、半年後には高学年の仲間入りをします。これからの3年生の半分をみんなでいつもがんばり合える合言葉を決めて、かっこいい4年生をめざしていくことでよりよい学級になると思い、この議題を提案します。</p> <p>キーワード (話し合いのよりどころ)</p> <p>「よりよい3Aになれる」「かっこいい4年生をめざせる」</p> <p>決まっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> 合言葉は1つ。 合言葉に合うマークを考える。 できた合言葉とマークは、教室前方に貼る。 <p>話し合いのめあて</p> <p>自分たちのクラスにとってよりよい意見にまとめよう。</p> </div>		
4 先生の話		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話し合いの内容について</p> <p>文化祭の取組みに対しての振り返りを話す。学級のアンケート結果からの現状を伝え良さと改善する点を確認し、さらに、よりよい学級にするためにはどんな力を付ければよいか話し合い、学級目標に向かっていこうという確認をする。</p> <p>話し合いのめあて</p> <p>ルーブリックの「まとめる力」の評価について話す。</p> </div>		
		★手立て

<p>5 話し合い (1) 話し合うこと① 「どんな合言葉にするか」</p> <p>(2) 話し合うこと② 「どんなマークにするか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートを基に短冊に書いていたものを掲示しておく。 ・自分の考えをできるだけ理由と共に話させ、積極的に意見が出るように促す。 ・「まとめ合い」では、友達の見解の「思い」や「願い」を考えたまとめ合いができるように助言する。 ・意見が固執しないように、「キーワード」に立ち返らせて考えさせる。 ・必要に応じて、折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言する。 ・合言葉が1つにならない場合は、子供たちが納得する形になってもよい。 ・合言葉に合う絵がイメージしやすいように、必要に応じて絵を見せる。 ・理由と共に、マークのアイディアを自由に発表させる。(絵でも言葉でもよい) 	<p>◎友達の見解の良さを尊重しつつ、理由と共にまとまるような発言をしている。 【思考・判断・表現】 〈発言・観察・振り返り〉</p> <p>★手立て ◎合言葉に合う思いを表現しようとしている。 【思考・判断・表現】 〈発言・観察〉</p>
<p>6 決まったことの確認</p> <p>7 振り返り</p> <p>8 先生の話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記録係に決まったことを発表させる。 ・本時ルーブリックにより、話し合いについての振り返りをする。 ・自己評価や相互評価ができるように助言する。 ・ルーブリックによる話し合いの仕方を振り返り、良かった点や課題点を話す。 ・計画委員への労りにみんなで拍手を送る。 ・今後の見通しや実践に向けての意欲付けをする。 	

(4) 板書計画

⑧ まとめる力			
△	○	◎	🌸
<p>「多数決で決めた方がいいと思います。」</p> <p>すぐに多数決で決めようとしている。</p> <p>「多数決がいいと思います。」</p>	<p>賛成意見が多いもの、心配意見がすくないものに決めるよう話している。</p> <p>「Aの賛成意見が多いので、Aにしてはどうですか？」</p> <p>「賛成意見も多かったし、心配意見への改善策も見つかったので、Aにしたらいいと思います。」</p>	<p>「決まっていること」も考えると、Aが一番よいと思うのでAで進めていいと思います。」</p> <p>提案理由・決まっていることをかくにんして決めるように話している</p> <p>「Aは賛成も多いし、提案理由(キーワード)にふさわしいので、Aに決めています。」</p>	<p>技を使ってまとめている。(あわせる・おもしろいをいれる・やすみ時間にやるなど)</p> <p>「AのなかにBの思いもこめてやれるから、Aに決めてもいいと思います。」</p> <p>「Bは、みんなで遊ぶ昼休みの時間にやると決めて、集会ではAにしたらよいと思います。」</p>

議題 学級の合言葉を決めよう

提案理由 文化祭を終え三年生の半分がすぎました。これまでに三Aで付けてきた力はありませんが、まだつけなければならぬ力もあります。九月にとったアンケートでは、生活面にか題がありました。また、半年後には高学年の仲間入りをします。これからの三年生の半分をみんなでも頑張り合える合言葉を決めて、かつこいい四年生を目指していくことでよりよい学級になると思い、この議題を提案します。

キーワード 「よりよい三Aになれる」「かつこいい四年生をめざせる」

決まっていること 合言葉は一つに決める。・合言葉に合うマークを考える。

・決まった合言葉を教室前の壁に貼ったり朝の会でみんなで言ったりする。

話し合いのめあて 自分たちのクラスにとってよりよい意見にまとめよう

話し合うこと②		話し合うこと①	
アイディア	どんなマークにするか	案	賛成
<p>話し合いで決まったこと</p>	<p>アイディア</p>	<p>案</p>	<p>賛成</p>

第 三 年 A 組 学 級 会

キーワード 「よりよい三Aになれる」「かつこいい四年生をめざせる」

話し合うこと① **どんな合言葉にするか**

